

経口蛋白分解酵素阻害剤

処方箋医薬品*

日本標準商品分類番号
873999

**カモスタットメシル酸塩錠100mg「サワイ」

CAMOSTAT MESILATE

カモスタットメシル酸塩錠

** 承認番号	22400AMX00078000
薬価収載	2012年6月
販売開始	1996年7月
効能追加	2001年3月

貯法：室温保存
使用期限：外箱に表示

※注意一医師等の処方箋により使用すること

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

・組成

カモスタットメシル酸塩錠100mg「サワイ」は、1錠中に日局カモスタットメシル酸塩100mgを含有する。
添加物として、カルナウパロウ、カルメロースCa、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸Mg、タルク、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースを含有する。

・製剤の性状

剤形	外形 直径(mm)・重量(mg)・厚さ(mm)	性状
フィルムコーティング錠	 7.1 約131 3.3 [識別コード：SW 227]	白色～帯黄白色

【効能・効果】

- 慢性膵炎における急性症状の緩解
- 術後逆流性食道炎

【用法・用量】

- 慢性膵炎における急性症状の緩解には
通常1日量カモスタットメシル酸塩として600mgを3回に分けて経口投与する。症状により適宜増減する。
- 術後逆流性食道炎には
通常1日量カモスタットメシル酸塩として300mgを3回に分けて食後に経口投与する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
過敏症を有する患者〔過敏症を有していた場合、副作用が発現しやすくなる。〕
- 重要な基本的注意
 - 胃液吸引、絶食、絶飲等の食事制限を必要とする慢性膵炎の重症患者に本剤を投与しないこと。
 - 胃液の逆流による術後逆流性食道炎には、本剤の効果が期待できないので使用しないこと。
 - 術後逆流性食道炎に対しては症状の改善がみられない場合、長期にわたって漫然と投与しないこと。
- 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

1) 重大な副作用(頻度不明)

- ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、血圧低下、呼吸困難、痒痒感等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

- 血小板減少：血小板減少があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。
- 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP、Al-Pの著しい上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 高カリウム血症：重篤な高カリウム血症があらわれることがあるので、血清電解質検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

	頻度不明
血液	白血球減少、赤血球減少、好酸球増多
過敏症 ^{注)}	発疹、痒痒等
消化器	嘔気、腹部不快感、腹部膨満感、下痢、食欲不振、嘔吐、口渇、胸やけ、腹痛、便秘
肝臓	AST(GOT)・ALT(GPT)の上昇等
腎臓	BUN、クレアチニンの上昇
その他	浮腫、低血糖

注)発現した場合には投与を中止すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には大量投与を避けること。〔ヒトの投与量の40倍(400mg/kg/日)以上を投与した動物実験(ラット)で胎児体重の増加の抑制が報告されている。〕

5. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない(使用経験がない)。

6. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

【薬物動態】

1. 生物学的同等性試験

カモスタットメシル酸塩錠100mg「サワイ」と標準製剤を健康成人男子にそれぞれ2錠(カモスタットメシル酸塩として200mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、活性代謝物である4-(4-グアニジノベンゾイルオキシ)フェニル酢酸の血漿中濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。¹⁾

各製剤2錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)	AUC _{0-7hr} (ng·hr/mL)
カモスタットメシル酸塩錠100mg「サワイ」	70.9±20.5	1.0±0.2	0.7±0.2	111.8±38.8
標準製剤(錠剤、100mg)	70.2±20.3	1.0±0.0	0.9±0.4	118.5±36.1

(Mean±S.D.)

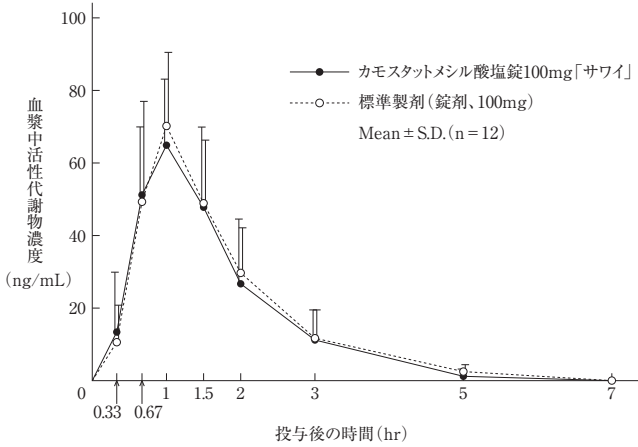
【主要文献及び文献請求先】

・ 主要文献

- 1) 沢井製薬(株)社内資料[生物学的同等性試験]
- 2) 沢井製薬(株)社内資料[安定性試験]

・ 文献請求先 [主要文献(社内資料を含む)は下記にご請求下さい]

沢井製薬株式会社 医薬品情報センター
〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目2-30
TEL : 0120-381-999 FAX : 06-6394-7355



血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

2. 溶出挙動

本製剤は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められた規格に適合していることが確認されている。

【薬効薬理】

1. 蛋白分解酵素阻害作用：トリプシン、血漿カリクレイン、プラスミン、トロンビン、C₁_v・C₁エステラーゼに対して強い阻害作用を示し、パンクレアチン、膵臓カリクレインに対する阻害作用は弱く、α-キモトリプシン、ペプシンには阻害作用を示さない。
2. キニン生成系に対して阻害作用を示す。
3. 凝固、線溶系に対して阻害作用を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：カモスタットメシル酸塩(Camostat Mesilate)

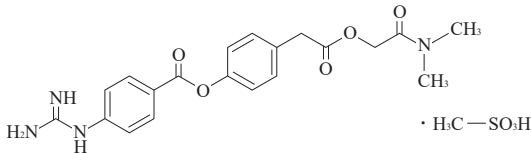
化学名：Dimethylcarbamoylmethyl 4-(4-guanidinobenzoyloxy)phenylacetate monomethanesulfonate

分子式：C₂₀H₂₂N₄O₅・CH₄O₃S

分子量：494.52

融点：194～198℃

構造式：



性状：カモスタットメシル酸塩は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は苦い。水にやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

・ 取扱い上の注意

本剤とオルメサルタン メドキシミル製剤等との一包化は避けること。[一包化して高温多湿条件下にて保存した場合、本剤が変色することがある。]

・ 安定性試験

PTP包装したものをを用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

【包装】

PTP：100錠(10錠×10)、1,000錠(10錠×100)

発売元

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30

* 製造販売元

メディサ新薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-27

H11 B180120

① ② ③ ④ A